

『古事記』編纂1300年記念

第6回 田辺聖子文学館特別企画展

田辺聖子の 古事記

会期 2012年10月27日(土)~11月24日(土)

私には「古事記」のどんな小さい物語にも、

人間が生きることのエッセンスが

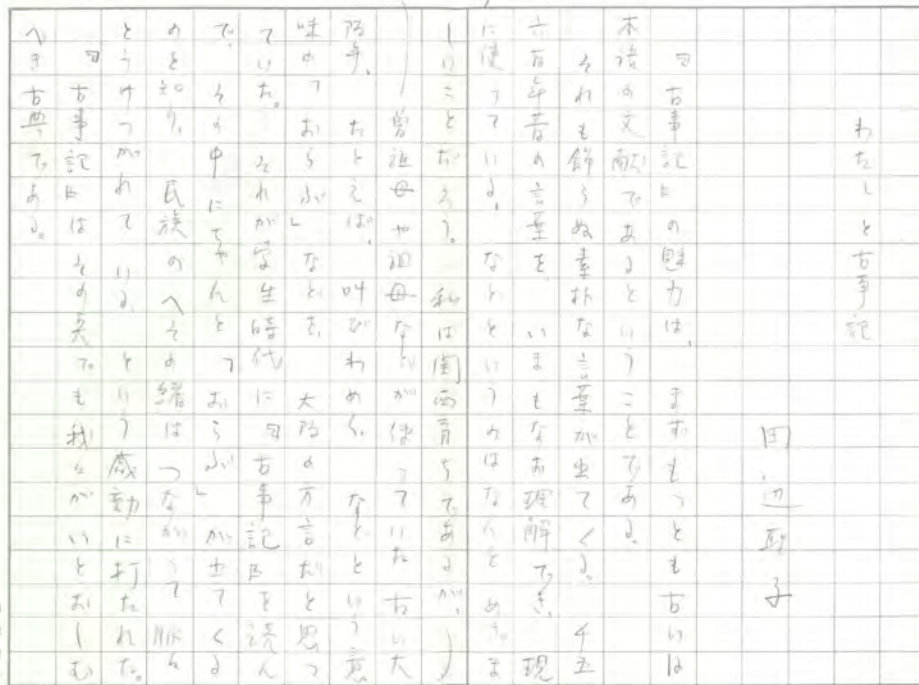
ふくまれているように思えてならない。

いつもそこから

人々の真実と愛が語られ、

物語は創られていくのである。

田辺聖子『田辺聖子の古事記』より



『田辺聖子の古事記』直筆原稿

特別展示

田辺聖子 樟蔭女子専門学校時代の“幻の習作”

「十七のころ」直筆原稿 初公開

田辺聖子文学館

〒577-8550 東大阪市菱屋西 4-2-26

大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス内

TEL 06-6723-8182 Fax06-6723-8387

<http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp>

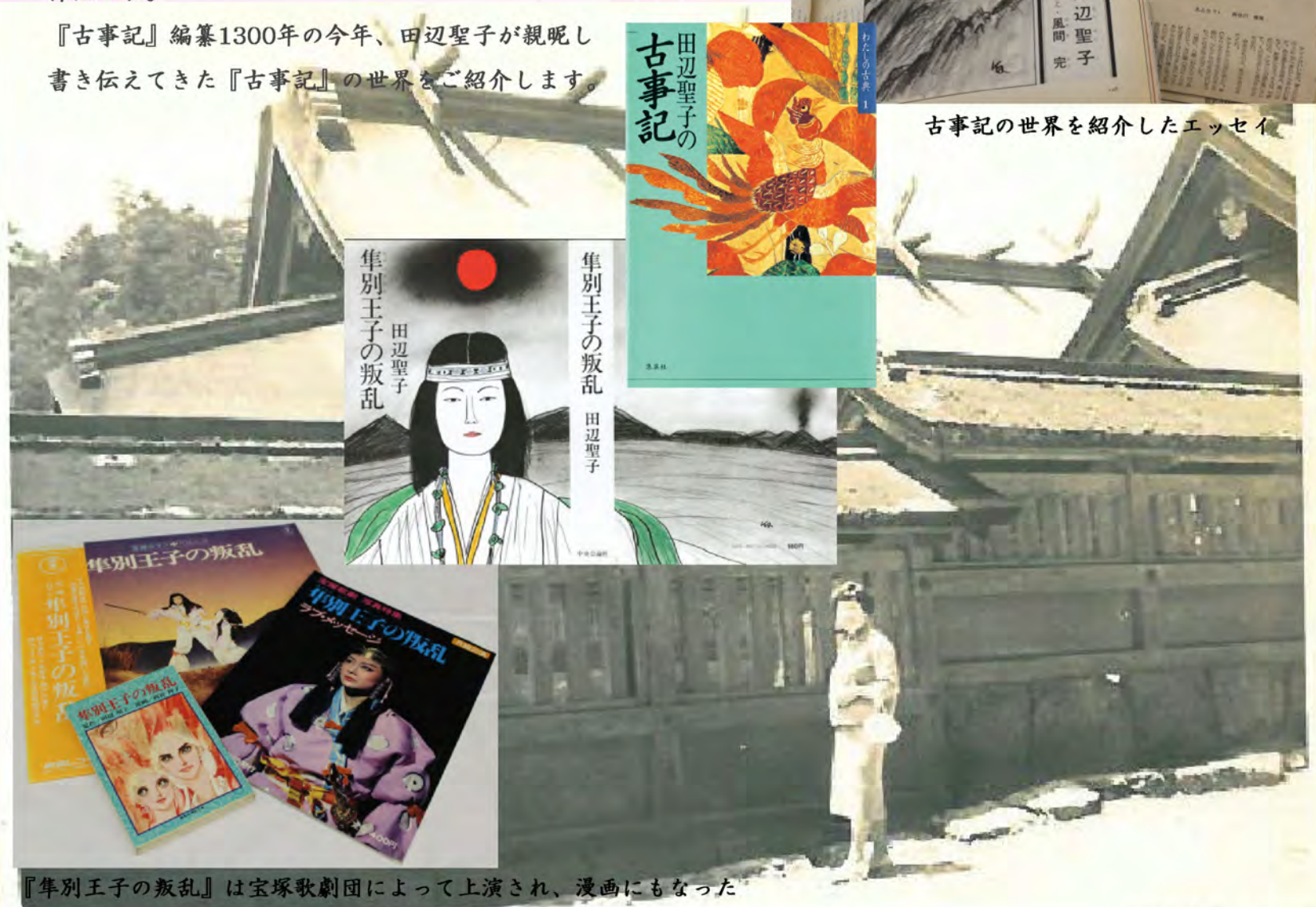
第6回 田辺聖子文学館特別企画展 田辺聖子の古事記

『古事記』を「小説の宝庫」(「古事記と私」)と言う田辺聖子は、『古事記』を現代語訳した『田辺聖子の古事記』(集英社1986)をはじめ、たびたび『古事記』について語り、書き続けてきました。ことに、『古事記』下巻の仁徳天皇の段をもとに二十年余りの歳月をかけて書き上げた古代小説『隼別王子の叛乱』(中央公論1977)は、田辺聖子が自らの著作のなかでも特に好きなものの一つという作品です。

『古事記』編纂1300年の今年、田辺聖子が親昵し書き伝えてきた『古事記』の世界をご紹介します。



古事記の世界を紹介したエッセイ



『隼別王子の叛乱』は宝塚歌劇団によって上演され、漫画にもなった

1958年出雲大社にて

大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパスへのアクセス



●近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 西へ徒歩4分(約300m)
●JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車 東へ徒歩5分(約400m)

- 会 期 : 2012年10月27日(土)~11月24日(土)
- 開館時間 : 平日 9:00~17:00 ・土曜 9:00~16:00
- 休 館 日 : 日曜・祝日

*ただし、10月28日(日)・11月23日(金・祝)は開館

田辺聖子文学館

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26

大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス内

TEL 06-6723-8182 Fax 06-6723-8387

URL <http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp>